

日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3学会合同大会 『ELR2012 東京』のご案内（第43回日本緑化工学会大会）

□ 開催主旨

応用生態工学会(E & CE), 日本景観生態学会(L), 日本緑化工学会(R)はいずれも「健全な生態系の持続・修復を視野に入れた国土のプランニング」を, 学界・行政・市民の連携のもとに進めようとする応用系学会です。この3学会はこれまで, 互いに得意とする異なった場で研究を行ってきましたが, 「森・川・海」といわれるように地球上のすべての生態系はつながっており, つながりの中でしか有効な目標設定と課題達成が行えないことは明白です。各学会で学会間連携の動きがおこり, 連携実現の第1歩として, 2008年, 第1回目の3学会合同大会「ELR2008 福岡」を開催いたしました。そして今年, 「災害と自然再生」をメインテーマとして第2回目の「ELR2012 東京」を開催します。

1. 大会概要

(1) 日程

2012年9月8日(土)～10日(月)

9月8日(土) 各学会委員会等, 研究発表(口頭, ポスター), 資材工法展示, 研究集会,
(理事会, 評議員会)

9月9日(日) 研究発表(口頭, ポスター), 資材工法展示, 各学会総会, 合同シンポジウム,
懇親会

9月10日(月) 研究発表(口頭), エクスカーション(一部の見学コースは11日(火)までを予定)

※ エクスカーションについては後日ご案内をいたします。

※ プログラムの詳細は, 本紙38巻1号および学会ホームページにてお知らせします。

※ 本大会プログラムには, 緑化・環境 CPD 認定行事が含まれており, CPD ポイントがつきます。

(2) 会場

東京農業大学 世田谷キャンパス (東京都世田谷区桜丘 1-1-1)

※ アクセス参照 URL http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html

2. 参加・発表の申込み

すべての申込みは, 別紙の『参加・発表申込書』により, 7月10日(火)までにFAXまたは電子メールで実行委員会あてにお申込み下さい。お申し込み下さった方には, 折り返し振込の案内を致しますので, それに従って参加費を振り込んで下さい。

● 申込先: ELR2012 東京 実行委員会 E-mail: elr2012@jsrt.jp Fax: 03-3818-8282(学会事務局)

(1) 参加申込み

大会参加費は, 正会員・賛助会員 5,000 円(当日参加 6,000 円), 一般(非会員)10,000 円, 学生(非会員含む)2,000 円です。費用には資料代(発表要旨集)が含まれます。懇親会参加費は, 一般(非会員含む)5,000 円, 学生(非会員含む)3,000 円です。

※ エクスカーション費用は未確定です。支払いは後日となります(別紙参照)。

※ 日本緑化工学会員以外の方で, 日本緑化工学会誌 38 巻 1 号(大会特集号)が必要な場合は, 会場で別途購入(2,000 円/1 冊)になります。

(2) 発表申込み方法

● ELR2012 の発表形式

通常の日本緑化工学会大会では、発表に「論文部門」、「技術報告部門」、「交流発表部門」の3部門を設けていますが、ELR2012 東京の発表では、部門の区分はせず発表していただきます。したがって、緑化工学会員の発表希望者は、発表部門にかかわらず、別紙の『参加・発表申込書』を提出して下さい。発表申込みの締め切りは7月10日(火)です。発表申込み後、要旨原稿を7月20日(金)までに提出していただきます。原稿様式、提出方法は後日連絡いたします。A4用紙で1ページを予定しています。

緑化工学会員の「論文部門」と「技術報告部門」の発表原稿は、従来どおり日本緑化工学会誌38巻1号(大会特集号)に掲載されるほか、要旨がELR2012 東京の発表要旨集に掲載されます。「交流発表部門」については、ELR2012 東京の一般発表の扱いとなり、要旨がELR2012 東京の発表要旨集に掲載されます。

当日のプログラムは、発表部門、所属学会にかかわらず、3学会すべての発表から内容によって振り分けたプログラムを作成します。発表に校閲はなく、参加・発表申込みと要旨の提出により発表ができます。発表形式には口頭とポスターがあり選択できます。ポスター発表にはポスター賞が設けられる予定です。

※ 要旨提出者は、大会での発表が義務づけられます。

※ 発表件数によっては、口頭、ポスターの選択希望に添えない場合もあります。

※ 「論文部門」、「技術報告部門」の投稿者は、原稿受理が確定してから申込書を提出して下さい。

3. 研究集会・資材工法展示・賛助会員コーナーの利用申し込み

研究集会はすべての学会で募集いたします。資材工法展示・賛助会員コーナーは緑化工学会の会員から募集する企画となりますが、展示は会場の1階で行い、すべての来場者に見ていただくことができます。

研究集会・資材工法展示・賛助会員コーナーの利用は、7月10日(火)までに、E-mailで実行委員会へてお申込み下さい。募集締め切り後、申込み件数などにより開催・展示場所や時間帯等を調整させていただきます。

● 申込先：ELR2012 東京 実行委員会 E-mail: elr2012@jsrt.jp

(1) 研究集会

集会名、内容(300～400字程度)、代表者の氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX番号・E-mailアドレス、開催希望日時、希望する部屋の大きさ(収容人数)をご連絡下さい。

※ 研究集会の開催可能日時は、9月8日(土) 9:00～12:00 および 18:00～20:00、9月10日(月) 午前中になる予定です。応募多数の場合は、開催時間・会場などご希望に添えない場合もあります。

(2) 資材工法展示

資材工法展示は、緑化工法、分析・調査器具、および図書など緑化に関する技術や商品の展示を行うものです。団体名、担当者氏名、連絡先住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、希望展示面積(単位数)、簡単な出展内容をご連絡下さい。お申し込み受付後、展示面積と方法に関する打合せをいたします。

1件の展示面積は5～10m²を標準面積単位として予定しています。テーブル、椅子、パネルなどの準備は事務局で行います。他に必要なものは各自ご準備下さい。電気使用が必要な場合は、申込み時にご連絡下さい。

出展費用は、1標準面積あたり10,000円(賛助会員は5,000円)です。

(3) 賛助会員コーナー

賛助会員コーナーは、賛助会員を対象としたパンフレットなどの無料配布スペースです。利用を希望される賛助会員は、団体名、担当者氏名、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス、パンフレットなどのサイズと点数をご連絡下さい。その後、配布物の受け渡し方法などについて打合せをいたします。

4. 合同シンポジウムの開催

今回の合同大会では、3 学会合同での公開シンポジウムを予定しています。内容の詳細は合同実行委員会で協議中です。内容が決まりましたらホームページなどでご案内いたします。

テーマ：災害と自然再生

日時：2012 年 9 月 9 日(日) 14:00 ～ 17:45

会場：東京農業大学世田谷キャンパス 農大 100 周年記念講堂

趣旨：災害復興と自然再生は対立するのか、両立するのか？ かつての「経済か環境か」を彷彿とさせる問題が 2011 年の東日本大震災などの大災害を契機に我々に突き付けられています。防災施設や住宅地の整備は地域復興のために切実な課題ですが、ハード一辺倒の整備は大規模な地形改変やエコトーン分断を通して生物多様性を損なう恐れがあります。一方、災害の危険性が高い場所からの集約的土地利用の撤退や事前回避は、長期的に見ると防災のための緩衝帯と自然再生の用地を兼ねた土地を生み出す可能性があります。本シンポジウムでは、以上のような問題意識のもと、防災・減災と自然再生の関係を災害現場の状況を踏まえながら(熱く)議論したいと思えます。

□ 問い合わせ

参加・発表申込みについて：

ELR2012 東京実行委員会・日本緑化工学会担当 E-mail: elr2012@jsrt.jp (中村華子・橘 隆一)

その他、ELR2012 東京全般：和歌山大学 中島敦司 E-mail: nakat@sys.wakayama-u.ac.jp

または 東京農業大学 福永健司 E-mail: fuku@nodai.ac.jp

■ ELR2012 東京(第 43 回日本緑化工学会大会) 運営委員会

委員長：中村幸人

〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学 地域環境科学部 治山・緑化学研究室内

Tel: 03-5477-2274 (橘 隆一) E-mail: elr2012@jsrt.jp

※ 会員の皆様への大会案内が例年に比べ遅れておりますこと、お詫び申し上げます。今後の最新情報については学会ホームページに随時掲載してまいりますので、ご注意のほどお願いいたします。

(合同大会担当理事 中島敦司, 福永健司)